



大学の学びが見えてくる。



北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツビジネス専攻

岩見沢で大学が出来ることを探る

「農商学域連携プロジェクト」展

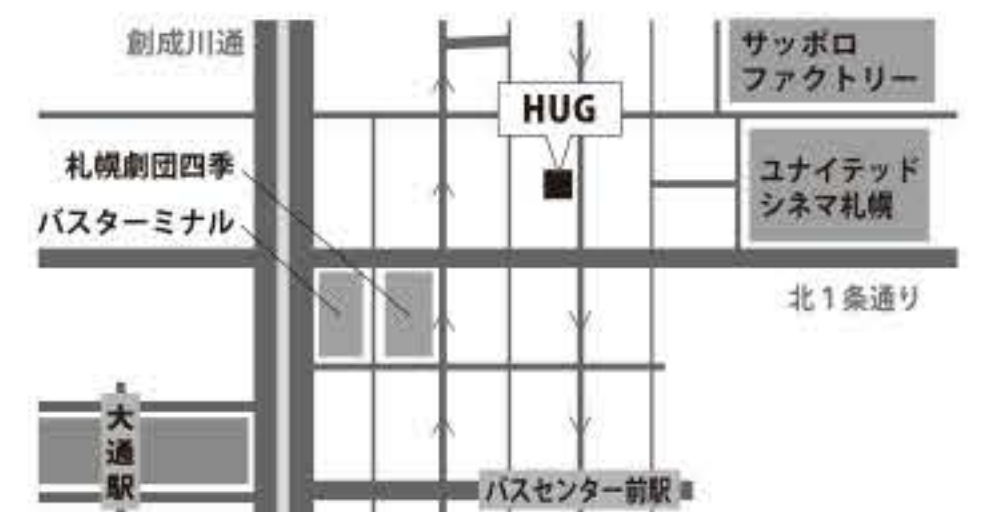
2017.10.26(THU)～11.5(SUN)

会場／北海道教育大学アーツ&スポーツ文化複合施設HUG

(札幌市中央区北1条東2丁目4番地 札幌軟石蔵)

- 地下鉄大通駅 27番出口から 徒歩7分
- 地下鉄バスセンター前駅 5番出口から 徒歩5分
- 地下鉄さっぽろ駅 21番出口から 徒歩10分

【開館時間】 12:00-20:00(火曜日定休)



主催：北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツビジネス専攻

企画：アートマネジメント音楽・宇田川研究室

芸術やスポーツの力で 大学生が地域の課題解決に挑戦する姿を 豊富な写真パネルなどで紹介します。

「農商学域連携プロジェクト」は、北海道教育大学岩見沢校の芸術・スポーツビジネス専攻3年生の授業として2016年にスタート。全国各地で共通して抱えている高齢化、少子化、人口減少、商店街の衰退等の問題を実際に自分の足で調査し、芸術・スポーツの持つ力による地域活性化の道筋をつけることが目標で、教員と学生とが課題解決に向けて、地元の企業や団体の協力を得ながら、新たな地域活性化の取り組みを進めています。

2017年前期は28名の学生が参加し、農業班、商業班の2チームに分かれ、プロジェクトを展開しました。今回は取り組みの様子を豊富な写真やパネルなどでご紹介します。



展示1

和っしょい! ほろなつ祭

Mission

地域の農業振興のために大学は何ができるのか?

炊きたてのごはんや新鮮な地場野菜のおいしさを楽しんでもらおうと、100年以上続く米づくり農家がはじめたファームレストラン「大地のテラス」が人気を集めています。今回、学生たちはこのレストランを運営する農業生産法人(株)道下産地代表取締役の道下智義さんからお話を伺い、農業の新しい可能性につながる企画の立案に取り組みました。

展示2

まちなか学校祭inまちなか朝市

Mission

地域の商店街活性化のために大学は何ができるのか?

大型店の郊外進出などにより住民の足が遠のく市内中心部の商店街を活性化しようと、夏から秋に期間限定で行われている「まちなか朝市」。今回、学生たちは、まちなか朝市実行委員会委員長の前野雅彦さんらにお話を聞きながら、「まちなか朝市」をさらに盛り上げていく企画の立案に取り組みました。



北海道教育大学岩見沢校のキャンパスガイドや
岩見沢市の観光情報もご紹介します。

お問い合わせ

展示関連:アーツ&スポーツ文化複合施設 HUG
Tel/ 011-300-8989 Mail/hug@j.hokkyodai.ac.jp

企画内容:アートマネジメント音楽研究室(宇田川)
Tel/0126-32-0259 Mail/udagawa.koichi@i.hokkyodai.ac.jp